

今年も修学旅行生を受け入れます

平成21年度から浦河町と様似町の共同事業として、両町を「日高王国」と位置づけ、地域の自然・資源を活かした農林漁業体験や民泊などのプログラムを提供による修学旅行生などの受入事業を進め、観光振興と地域経済の活性化を目指して、日高王国推進協議会が設置されています。これまで研修会の開催やモニターツアーの受け入れなどを行い、修学旅行の誘致に取り組んできました。



農林漁業体験と民泊による修学旅行

修学旅行で農林漁業家に滞在する目的は、「自然とふれあい、教室では学べない人と人との交流や社会を学ぶこと」にあります。

特別な体験メニューを用意する必要はありません。ありのままの日高の生活の中に生徒たちを温かく迎え入れます。

昨年、はじめて学生157名を受け入れ

「日高王国」が始まって、はじめての修学旅行生を受け入れが、昨年10月24日～26日の2泊3日滞在の兵庫県神戸村野工業高校157名でした。3月11日の東日本大震災の影響により、予定していた東北から行き先を変更して「日高王国」に来ていただきました。

生徒たちは、道内でラフティング体験などをした後に、浦河町に到着。受け入れ先の浦河町と様似町の農林漁業の人たちと対面式を行い、各ご家庭に生徒3～4人ずつ移動し、一



緒に夕食づくりを行いました。

翌日には、それぞれのご家庭での日常的な仕事である厩舎、牛舎作業、搾乳、野菜収穫、昆布、船、植林、薪運びなどのお手伝い。鮭遡上、馬市などを見学したところもありました。早朝の仕事があるところでは、生徒も早く起き手伝いました。

民泊期間は、天候が良くなかったので、生徒たちのために予定していた仕事を変更したところもあったようですが、引き受けてくださった皆さんのご理解とご協力により、大きな事故などもなく無事に受け入れを終えることができました。

日高王国に 問い合わせが続々

農林漁家の体験に来る生徒たちは、個性も豊かで性格も違い、アレルギーを持つ生徒も多くいます。体験メニュー、食事やコミュニケーションなどに苦労されたご家庭もありましたが、何とか工夫して対応し

ていただきました。そして、様々な場面で感動し、今度来る生徒たちを楽しみにしているとの感想を多くいただきました。

また、神戸村野工業高校は、生徒の感想文から好評だったため、今年度も「日高王国」に来ていただけることになりました。日高王国で修学旅行生を受け入れたという実績は、修学旅行を取り扱う旅行会社に広く

知れ渡り、来年度以降の受け入れの問い合わせが数多く寄せられています。修学旅行に民泊をという学校側のニーズが高いことがはつきりしました。

日高王国スタッフ一同、これからも修学旅行生の受け入れにより、都会の子どもたちに、1次産業の仕事を理解していただくとともに、将来、日高の応援団となる子どもが全国に増えるよう取り組んでいきますので、「日高王国」による農林漁家民泊・体験交流にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



農林漁家の方で、空き部屋がある方 修学旅行生を受け入れませんか

日高王国推進協議会では、今年も修学旅行生を受け入れるため、農林漁家の民泊を受け入れていただけるご家庭を募集しています。昨年は10月24日～26日に兵庫県から神戸村野工業高校157名を農林漁家52のご家庭（浦河35世帯、様似17世帯）で受け入れていただきました。民泊を受けるには、予備登録のご家庭も含めて、多くの受け入れ可能な農林漁家の方々が必要となります。今年は、2校が予定されており、受け入れ回数や男子生徒に限る、女子生徒に限るなど各ご家庭のご事情にあわせてしますので、民泊に興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

《今年の受け入れ予定》

福岡県福智高等学校（98名） 期間 9月11日（火）～13日（木）2泊3日

兵庫県神戸村野工業高校（180名） 期間 10月4日（木）～6日（土）2泊3日



- ▶各ご家庭で基本的に3～4名の生徒を受け入れます。
- ▶生徒たちの集合場所からご自宅まで、生徒の送迎もお願いします。
- ▶受け入れの間は、それぞれのご家庭のスケジュールで生徒たちと過ごしていただき、生徒たちに日常の作業体験をさせてください。
- ▶食事は生徒と一緒に作って、一緒に食べます。